

朝鮮半島の名山・金剛山の雄大な山並みを描いた本作。1930年代に景勝地として親しまれた金剛山の複雑な地形が織りなす景観は、若山牧水や山内多門など多くの芸術家の創作の源泉となりました。作者の山田新一（1899～1991）は本市ゆかりの洋画家で、東京美術学校卒業後はソウルに移り住み、スケッチ旅行でたびたび金剛山を訪れています。

戦後の混乱で当時の作品の多くが失われた中、三層合板に描かれた本作には、合板の層間剥離や木のひび割れに伴う絵具層の亀裂が生じていました。令和5年度に剥離箇所の接着や表面の洗浄・保護などの修復を行いよみがえったこの一枚は、貴重なソウル時代の現存作の1つです。

*本作は、2月23日(月)まで開催している収蔵作品展「修復記念展 美の方舟」に展示予定

◎問い合わせ 市立美術館 ☎ 25-1447

History exploration! 歴史探訪!

都城が町から市へ、大正13年の議事録

明治21（1888）年、近代日本における地方自治の基本を定めた法律「市制及町村制」が交付されたことをきっかけに、翌年には全国で31の市が誕生し、九州でも長崎・福岡・久留米・佐賀・熊本・鹿児島の6つのまちで市制が施行されました。この時、宮崎県下の都城町が市制施行に至らなかったのは、町の人口が市制施行要件の3万人に達していないと考えられていたためでした。

時を経て、大正12（1923）年、都城町の都城電気株式会社公営化問題に関連して都城警察署が都城の人口調査を実施したところ、人口が3万人を超えていたことが判明します。これを契機に、市制施行への取り組みが急速に進みました。本資料は、大正13年1～3月の町議会議事録で、これによると同年1月26日の町議会で「市制施行申請ノ件」が満場一致で可決されています。このことを受け、都城町は県庁を経由して内務大臣に市制施行の申請を提出。同年4月1日に初めて「都城市」を名乗りました。※本資料は、5月24日(日)まで開催の新市誕生20周年記念事業・都城築城650年記念特別展「城から町、そして市へ」で展示中

◎問い合わせ 文化財課 ☎ 23-9547

「金剛山」
山田 新一 作（1930年代）



江戸と南九州を船でつなないだ後藤家

高城郷（現高城町）で商業を営んでいた後藤家。8代目当主五市は、船を取得して鹿児島藩の御用を務めるなど、広範な海運業を展開していました。

本史料は、後藤家が本市に寄贈した膨大な史料の一部で、当時の海運業の実態を示す興味深い覚書です。黒船来航から間もない安政3（1856）年2月、江戸から帰帆する後藤家が、鹿児島藩に鯨建（鯨の骨粉）を買い付けて廻船したいと願い出た旨が記されています。鹿児島藩は、商品作物の栽培を奨励するも肥料不足が課題で、その状況を受けた後藤家が、高岡郷（現宮崎市）の商人と連名で、肥料になる鯨建を仕入れて帰帆できるよう藩に嘆願したのです。

江戸中期以降、鹿児島藩ではこのような海運による鯨建の買い付けと搬送が盛んになりました。後藤家らの海運商人が、鹿児島藩の農政に深く関わっていたことを示す貴重な史料です。

*本史料は、3月15日(日)まで開催中の収蔵史料展で展示中

◎問い合わせ 都城島津邸 ☎ 23-2116



3代目代表 稲谷孝太さん

昭和32年に創業し、65年以上にわたり地域で愛され続ける稻谷製菓。谷孝一郎さんが独立後、パン工場で勤務していた創業者の稻技術を生かして作った「酒まんじゅう」が人気となつたことをきっかけに店を構えました。現在は、2代目の豊孝さんと洋菓子店で修業した孝太さんが3代目として味を守りながら新しい魅力を広げています。

看板商品の「酒まんじゅう」は、米と糀を自家発酵させた酒種と少量のイースト菌で生地を膨らませます。生地は温度や湿度に左右されやすく、人気ぶりです。また、孝太さんは洋菓子作りの経験を生かし、小豆の煮汁をくず粉で固めた和風プリン「とろりん」や小豆入りシフォンケーキなど、和洋折衷の新商品を開発。このほか、日持ちする手土産として「小豆じゃむ」など店頭には多様な商品が並びます。小学生から年配の常連客まで幅広い世代が足を運ぶ同店。「包装紙を見たら思い出してもらえるまちのお菓子屋さんでありたい」と語る孝太さん。変わらない味と製法を守りながら、地域に寄り添い、都城の「懐かしい味」を届け続けます。



看板商品 酒まんじゅう

企業の力

Vol.64

和洋菓子 稲谷製菓

☎ 22-3671

お待ちしています/
読者のお便り

郵便はがきにこの面を貼り付けて、宛名面に次のとおり記載の上、郵送ください。

宛先

郵便番号 885-8555
都城市役所秘書広報課 行
※住所の記載は不要

送付者情報

- ①氏名、②フリガナ、
- ③ペンネームまたはイニシャル、
- ④郵便番号、⑤住所、⑥電話番号

今月の読者プレゼント



揚げたてリングドーナツ3種×2 10人

プレゼント提供事業者

Nickel donut (姫城町9-7) ☎ 070-5537-8818

注文後に揚げる“揚げたて”が自慢の自家製リングドーナツ（きなこ、ココア、パウダーシュガー）をプレゼント。さくっと、ふわふわ、もちっとした食感をお楽しみください。



プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名、電話番号と、1月号を読んだ感想などを書いて〒885-8555まで。
応募者の中から抽選でプレゼントを差し上げます。

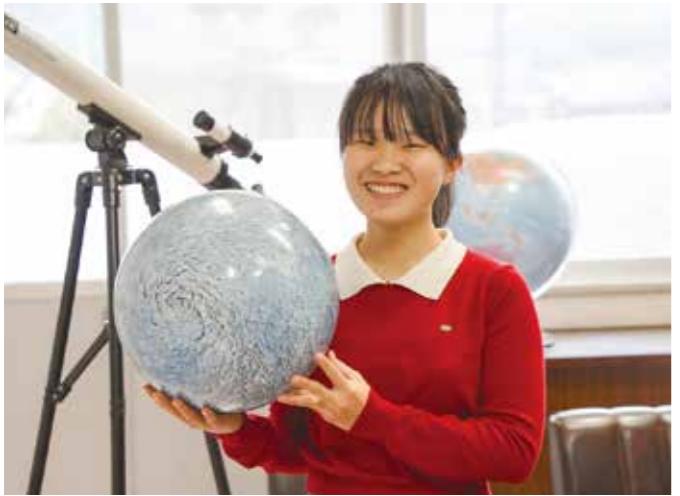
- 応募締め切り 1月31日（土）当日消印有効
- 当選者発表 本紙3月号
- 11月号当選者 りゅうちゃんさん ほか29人
- 11月号応募総数 145通

※市公式LINEとお友だちの人は、プレゼントボタンから応募できます

私の夢

二見 ひより
日愛さん 高崎麓小6年

宇宙開発の仕事をする
JAXAの研究員になりたい



都城市現住人口		
令和7年12月1日現在	前月比	前年比
世帯数 74,209世帯	13	449
人口総数 159,058人	-30	-487
男性 74,973人	15	-142
女性 84,085人	-45	-345

※令和2年国勢調査に基づく推計人口



「青井岳自然公園」(山之口町山之口)

新しい年を迎えると新しい習慣を始めたくなりますよね。SNS初心者の人におすすめしたいのは、広報紙+市公式SNSの二刀流の情報収集。広報紙で深く、SNSで早く。大きな話題だけでなく身近な小ネタもあり、都城の今が立体的に見えてきますよ。(直)

都城フィロソフィ^⑯

◎問い合わせ フィロソフィ推進課 ☎23-7163

第2部 素晴らしい都城市するために

第1章 一人ひとりが都城市役所

自分の仕事ではないと言わない

組織では、さまざまな仕事をみんなで分担しながら進めています。一人ひとりが自分の仕事に責任を持ってやり遂げていくことが組織全体の成功につながりますが、仕事を進める中では、当初想定していなかった誰にも属していない仕事も生じてきます。

自分の仕事ではないと言うのは簡単ですが、結局は誰かが担わなければ、仕事を成功に導くことはできません。

いたずらに時間をかけてやらない理由を探すのではなく、前向きな姿勢でどうしたらやることができるのかを考え、自分の成長につながるという思いを持って仕事に取り組むことが、組織全体にも良い影響を与えます。



市では、本市の魅力を県内外にPRするため、本市にゆかりがあり、さまざまな分野で活躍する人たちに「みやこんじょ大使」を委嘱しています。大使は、芸能関係者やスポーツ選手、文化人、報道関係者、地域で活躍している人など、令和7年11月時点で240人。多くの大使が本市を応援し、その魅力を発信しています。

観光地や遊び場、イベント、グルメスポットなど、市内で楽しめる場所・モノ・コトを紹介!

みやこんじょ大使大集合で幸せ上々

◎問い合わせ みやこんじょPR課 ☎23-2615

1月1日で新都城市誕生20周年を迎えた本市。今回、これを記念したイベント

「みやこんじょ大使大集合」をMallmallま



都城のまちなかにみやこんじょ大使大集合!

【みやこんじょ大使大集合】
●日時 1月18日(日) 11時～14時
●場所 Mallmallまちなか広場
●出演予定者 永瀬正敏、DJPOCKY、永川真由、コレナガカオリ、濱田詩朗
※委嘱順

県内外で都城をPRしている大使たちが一堂に会し、市民の皆様と交流する本イベント。「過去」「現在」「未来」のテーマで、みやこんじょ大使がフリートークを実施します。この貴重な機会に、普段はなかなか会うことができない大使たちに会いに来ませんか。

※シーズンマルシェ同日開催

新刊紹介

おすすめ図書

◎問い合わせ 市立図書館 ☎22-0239
高城図書館 ☎58-4224



こうまくん
きくちちき(作)、大日本図書(出版)
テントウムシやウサギに「ぼく、はしってるの」と喜びを伝え、走り続けるこうまくん。いったいどこへ向かうのでしょうか。旅したような、すがすがしい気持ちになる絵本です。



装いの翼 おしゃれと表現
行司千絵(著)、岩波書店(出版)
多感な時期を戦禍の中で過ごし、戦後は表現者として生きた、いわさきちひろ、茨木のり子、岡上淑子。3人の私生活や美意識を、愛用の服やゆかりの人々、時代背景からひも解く1冊。

【市立図書館】●休館日/2月3日・4日
●開館時間/9:00～21:00

【高城図書館】●休館日/1月12日・13日・18日・20日・27日、
2月3日・10日・11日・15日
●開館時間/9:30～18:00

今月の みやこんじょ弁



とといばん
大みそかの夜

使い方

意味 大みそかの夜のそばはおいしいよ

「みやこんじょ大使」とは?

◎問い合わせ 秘書広報課 ☎23-3174

「年取り晩」の転訛。昔は数え年(出生時が1歳で元日に歳を取る数え方)で年齢を数えたことに由来。

※方言は市内でも地域や年齢によって異なります

参考文献 濑戸山計佐儀著「都城さつま方言辞典」



洋風がねと里芋のそぼろあんかけ



洋風がね

●材料(10~15個分)

サツマイモ	300g	A 卵	1個
ベーコン	45g	小麦粉	100g
ニンジン	120g	無調整豆乳	100ml
揚げ油	適量	コンソメ	7.5g
		チーズ	30g
		乾燥バジル	2g

●作り方

- ①サツマイモは皮をむき、細切りにして水にさらす。ニンジン、ベーコンも細切りにする。
- ②ボウルにAを入れて混ぜ、①を加えてさっくりと混ぜ合わせる。
- ③鍋に油を適量入れて熱し、②を食べやすい大きさにまとめて、180°Cの油で揚げる。

△ワンポイント／

具にピーマンを加えるのもおすすめ。

里芋のそぼろあんかけ

●材料(4人分)

里芋(冷凍可)	320g	ごま油	小さじ1
干しシイタケ	4g	すりおろしショウガ	8g
鶏ひき肉	60g	B 黒砂糖	小さじ1
A タマネギ	80g	薄口しょうゆ	大さじ2/3
ピーマン	40g	C 片栗粉	大さじ1
赤パプリカ	40g	水	大さじ1

●作り方

- ①里芋は蒸して皮をむく(冷凍の場合ゆでる)。
- ②干しシイタケは水で戻す(戻し汁は取っておく)。
- ③戻したシイタケとAを全てみじん切りにする。
- ④鍋にごま油を熱し、ショウガ、鶏ひき肉、②のタマネギとシイタケを炒め、シイタケの戻し汁と具がかぶるくらいの水(分量外)を加えて煮る。
- ⑤Bを加えて、②のピーマン、赤パプリカを入れる。
- ⑥ピーマンの色が変わる前にCを加え、とろみがついたら里芋にかける。



レシピ提供 都城市食生活改善推進員連絡協議会 会長 松尾 伊津子さん

都城の郷土料理「がね」にチーズやベーコン、コンソメを入れ、野菜が苦手な子どもも食べやすいように洋風に仕上げました。里芋のそぼろあんかけは、ショウガやごま油で風味を加えて減塩し、黒砂糖を使うことでコクを出しています。

食生活改善推進員連絡協議会は、講習会や親子料理教室などの活動を通して、地域のみなさんに食事や健康の大切さを伝えています。自身や家族の健康のために、ぜひ自宅で健康を意識したレシピを実践することから始めてみませんか。